曝露向け 施工方法

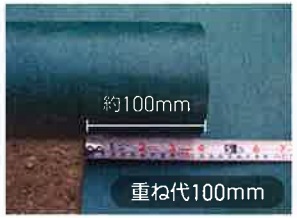
推奨製品：ザバーン® 防草シート 350G 240G
プランテックス® 防草シート 240BB

❶施工前準備

雑草はできるだけ除去し、ある程度整地する。

❷シート敷設

ヨレや隙間がないように端から敷く。

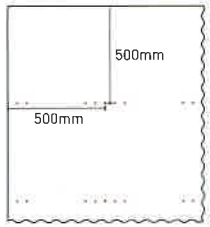


2列目のシートを敷く場合は1列目のシートに100mm以上の重ね代を設ける。

ピンを下まで打ち込まず仮固定する。

ピンを打つ位置にスミ付けする。

ザバーン®350G ドット印刷



350Gには、ピン打ち箇所・シート重ね位置・カットライン・植栽位置の目安として、ドットが印刷されています。

❸ピン止め

インパクトレンチ(六角ソケット17mm使用)でピンをシートに直接ねじ込み、上から防草パッチ®を貼る。

コ型止めピン／L型止めピンをシートに直接ハンマーで打ち込み、上から防草パッチ®を貼る。

GFワッシャー®にコ型止めピン／L型止めピンをセットし、直接ハンマーで打ち込む。

❹シート端部処理

建造物などがある場合にはそれに沿って隙間なくきれいにカットする。

移動可能な障害物の下にシートを敷き、シートのカットは最小限にする。

上にシートを被せ、縁に沿ってカッターで切り抜く。

※建造物や障害物とシートの間に隙間が生じる場合はザバーン®用接続テープを使用し、端部処理を行う。

❺シート接続

コンクリート面・シート同士の接続面

接着面の汚れを除去し、先端を口径約8mmにカットしたボンドをシート下に差し込んで注入する。シートとボンドを馴染ませ、養生する。

接着面の汚れを除去し、シートにヨレやシワが起こらないように押さえながら接続テープを貼り、圧着する。

コンクリート面

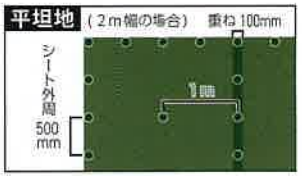
ハンマードリルで下穴を開け、インパクトドライバーで固定する。

ハンマードリルで下穴を開け、端部からインパクトドライバーでアンカーを打ち込む。連結部・中間部の順に固定する。

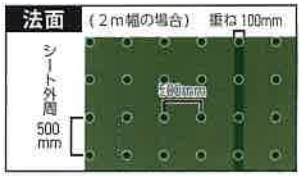
土壌面

L型止めピンを端部・連結部・中間部の順に打ち込む。

固定ピン止め位置



シート外周・重ね部は500mm、内側は1mピッチでピンを打ちます。



シート全体、500mmピッチでピンを打ちます。

- すべての植物に対し、完全なる防草効果を持つものではありません。
- 植物の種類および施工方法によっては、シートの端部、重ね部、キズ穴部などから発芽する場合もあります。
- 小さな雑草の場合、施工前の除草は不要です。
- シートは空気を通しますので、樹木の周囲に開口部を作る必要にありません。
- 状況に応じてピンの種類・本数を変えてください。
- シート上に除草剤や殺虫剤を散布しないでください。シートの耐久性が半減する恐れがあります。

取扱注意事項

- 本製品は長期間、直射日光のあたる場所に放置しないで下さい。直射日光にさらされ続けると劣化の原因になることがあります。
- 本製品は、火及び高熱によって溶けたり燃えたりすることがありますので、火や高熱物を近づけないでください。

環境良品

- 本製品は、環境に配慮した製品です。
- 製品及び梱包資材は、保管使用、廃棄(焼却、埋め立て)の際にダイオキシンなどの環境影響物質が発生することはありません。
- 廃棄方法は各自治体の指示に従ってください。

G&F GreenField 株式会社 グリーンフィールド
TEL：0120-222-178 FAX：0120-522-178
E-mail：sales@gfield.co.jp Web：www.gfield.co.jp

詳しくは「ザバーン®プランテックス®防草シート 技術資料」をご確認ください。ザバーン® プランテックス® 防草シート は米国デュポン社の商標および登録商標です。

230120